

第二 憲法類編

| |
|----------------|
| 第八冊 |
| 第一篇 國法部 |
| 第五卷 貨幣 |
| 紙幣 金利別換公債證書 初葉 |
| 藩紙幣 十九、 |
| 新貨幣 廿五、 |
| 新紙幣 卅四、 |
| 銀行紙幣 卅一、 |
| 贖金 廿五、 |
| 證券 廿八、 |
| 會社金券 卅六、 |
| 雜 卅四、 |

八十七卷ノ廿六

36

322.16

Si 298_レ k

Kodak Gray Scale

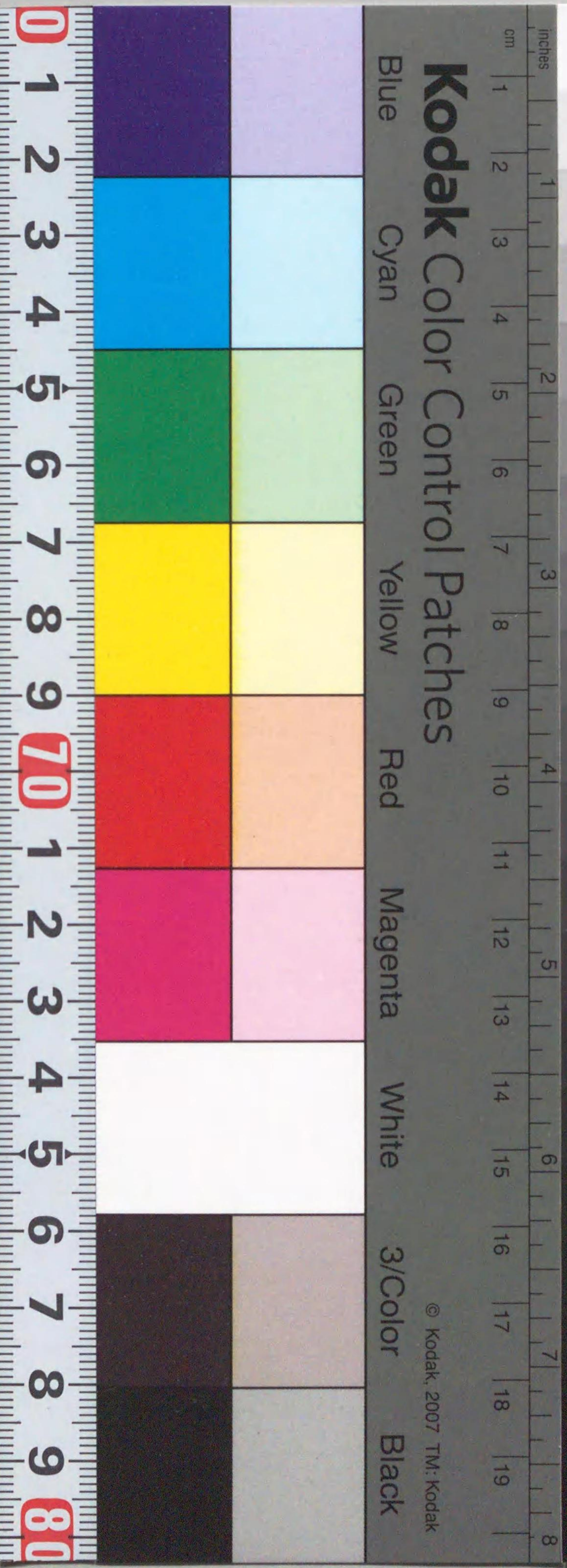
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black





第二 憲法類編第八冊目錄

第一篇 國法部

第五卷 貨幣

○紙幣 金札引換公債證書

自第一至第五 金札引換公債證書發行ノ事

○藩紙幣

第六 上納ノ舊藩楮幣各種混淆不致様可取計ノ事

自第七至第八 舊藩々引換濟紙幣府縣へ預リ可置ノ事

第九 舊藩縣製造紙幣引渡濟ニ付受預證書引換方ノ事

自第十至第十三 舊藩紙幣五錢以下ニ捺印ノ印章增渡並押印交

換ノ上届方及七同斷ニ付諸入費受取方ノ事

第十四 紙幣ニ關ル願伺届焼失ニ付更ニ謄寫可差出ノ事

第十五 藩札引換金渡其他調印勘合ノ為地方官印章可差出事

第十六 藩札引換及下調等ハ管下ノ者ハ可申付ノ事

第十七 舊藩々製造ノ札各種可差出ノ事

第十八 府藩縣製造紙幣準備金上納ノ事

○贖金

○新貨幣

第十九 贖金造幣寮ハ持參ノ者代價拂渡方ノ事

第二十 銀貨幣量目増ニ付五十錢以下模様改正ノ事

第二十一 銅貨幣三錢ノ壹種ヲ加ヘ各種圖面改正鑄造ノ事

自第廿二至第廿四 大坂造幣寮ニテ地金收納相斷ノ事

第廿五 新貨條例中刪去改定ノ事

○證券

自第廿六至第三十 大藏省開拓使證券一圓以上ノ分捺印方並五十

錢以下引換手續及通用停止日限ノ事

自第三十一至第三十四 古金納入證券廢止ニ付引換方ノ事

○新紙幣

自第三十五至第三十七 新紙幣百圓五十圓見本等ノ事

第三十八 新紙幣各種見本並金券見本差立途中逢強奪ノ事

自第三十九至第四十二 見本鑿孔ノ紙幣散布ノ分引替願方等ノ事

○會社金券

自第四十三至第四十七 西京大坂神戸天津敦賀為換會社ノ金券引換ノ事

50418

自第四十八至第五十一 橫濱為換會社發行金券引換ノ事

自第五十二至第五十三 東京為換會社發行金券引換ノ事

第五十四 各為換會社發行金券引換ノ分可届出ノ事

○銀行紙幣

自第五十五至第五十八 國立銀行紙幣發行ノ事

第五十九 第一國立銀行紙幣見本ノ分紛失ノ事

○雜

自第六十至第六十二 官省札藩紙幣燒捨ノ事

附 和泉橋外燒却場ニ於テ燒捨紙幣負數

自第六十三至第六十三 諸紙幣交換臨時至急ヲ除クノ外納拂日限ノ事

附 造幣寮首長年報刊行ノ事

第二 憲法類編第八冊

第一篇 國法部

第五卷 貨幣

○紙幣 金札引換公債證書

○金札引換公債證書發行ノ事

第 明治六年三月三十日第百二十一號御布告

明治元年戊辰太政更始ノ際官省札ヲ十三ヶ年限リ發行候

處速ニ收却ノ儀ヲ決シ己巳ノ冬ヨリ壬申年中ニ新貨幣ヲ

以テ交收シ遺殘ノ札ハ一ヶ月五朱ノ利子毎年七月十二

月兩度ニ割合拂渡スヘキ旨己巳五月廿八日布告候處政府

ニ於テ尚收却ノ都合ニ至兼候ニ付金札所持人ハハ約ノ如

明治三年十月二十七日
又拾七号ヲ以テ改正ノ
又拾七号ヲ以テ改正ノ
又拾七号ヲ以テ改正ノ
又拾七号ヲ以テ改正ノ
又拾七号ヲ以テ改正ノ
又拾七号ヲ以テ改正ノ
又拾七号ヲ以テ改正ノ
又拾七号ヲ以テ改正ノ
又拾七号ヲ以テ改正ノ
又拾七号ヲ以テ改正ノ

ク一ヶ月五朱ノ割合ヲ以テ利子可相渡候得共各處散在一
一難拂渡ニ付明治六年第三月十五日ヨリ(第三合)金札所持ノ
者へ一ヶ月五朱即十年六分ノ利息付公債証書ヲ可下渡候
條別冊公債証書發行條例ヲ遵奉シ証書讓渡等可致候若此
條例ニ犯違スルヨリ差起リタル訴訟等ハ一切裁決不致候
此段兼テ相違候事

但金札所持人ノ勝手ヲ以テ証書ヲ不望者ハ其意ニ任ス
ヘキ事

金札引換公債証書發行條例

明治元年戊辰太政更始の際十三ヶ年を限リ通用の約束
を以て官省札を發行せり己巳五月廿八日の布告ニ基き

今此公債証書を發行致キ付大日本政府ニ於テ制定シ
スル條々左の如し

第一條

此公債証書ハ之を二種ニ分チ甲を記名公債証書と稱シ乙
を利札附公債証書と稱シ可シ

第二條

記名証書ある者ハ持主の名前を証書の表面並ニ大藏省の
元帳へ載せ且人民讓渡ハ度毎大藏省へ差出其証書を書改
シ大藏省の帳面ニ於ても其名前を書改む可シ

第三條

利札附証書ハ其持主の名前を証書及び元帳へも記載せ

之を譲渡せしむるも只其證書を取遣はるのときて別記記載の煩ふし且其證書の下端へ年々可拂渡利息高を認むる小札を附に
記名證書ハ五十圓百圓五百圓千圓の四種とし利札證書ハ五十圓百圓五百圓の三種とし
記名利札兩證書共發行月日より十五ヶ年の間流通せしむ可き者として證書を所持する月日より七ヶ年の間ハ只利息のを拂渡しハヶ年目よりハ何時までも政府は都合より抽籤の方を以て元金を拂戻を可けきと證書乃所持人の此時に至るを決して之を拒むの權ありさる可し是を以て發行月日より十五ヶ年後ハ是非共政府悉皆之を買揚

るの權ある可し此節後改定アリ第五ニ載ス

第四條

何人子論なく太政官札民部省札並に新圓札を所持しし公布し従て利子を得んとを公債證書と交換せんことを欲せし次節の手續を経りて其金札類を大藏省紙幣寮へ差出し大藏省の都合を以て前章を載せしる兩證書の内受取る事を得へし

但受取しし内贖札ありし之を斷裁して其本人へ返さへし此但書後改定アリ第五ニ載ス

東京横濱大坂西京神戸長崎箱館新潟及び右に接近する場所ハ大藏省紙幣寮又ハ其出張所又ハ第一國立銀行本店出

店等へ願書と俱し金札を差出さへし其他銀行の出店なき
場所の其地方官廳へ差出さへし

右公債證書を願受んと欲する者の前節の通り其場所の役

所又出店へ金札太政官民部省
及新札の總稱を幾許に高小ても持参して

何々高の公債證書記名或は
利札證書幾枚請取度旨を願書に認め

差出さへし

各所の出張所或は國立銀行等に於て願人より願書と金札

とを受取る時にも請取書二通を認め公便を以て本紙をい

東京大藏省紙幣寮へ差出し寫紙本人へ渡置可し尤も其

本紙への證書の種類枚數等を明細に記入さへし第一第二
雜形の如し

紙幣寮に於ては各所より右の受取書を送る時ハ直に證書

渡方の手續をとり右目錄通或は都合より由り大藏省存意通

の證書金高枚數に明細の目錄書と本人より差出さへし請

取紙下書とを封入して公便を以て各所の役所へ届き夫よ

り本人へ送り届くへし第三第四第五
第六雜形の如し

但土地の便宜よりて直に本人は宿所へ送る届くへし

本人に此證書を請取る時ハ證書と俱し請取りたる請取

書の下書へ請取する證書の目錄を記入し記名證書を
利息請取場

所に地名を記入し記名并調印の上にて公便を以て前以請取り

たる請取書の寫とを紙幣寮へ送るへし

證書を願ふは其月の十五日以前に入金せられハ全月ハ利息

を拂ふ可きとも十五日以後をきた其月ハ利息を拂ハさ

るる

第五條

兩證書共ニ其利息拂場所ハ東京大坂横濱長崎神戸西京新
瀧箱館等ハ銀行出張所ニ於てモ一故ニ記名證書を願受
ル者ハ當初證書を請取ル時同時ニ得ル請取書下書
の末ハ前ニ記セル場所の内其都合ニ任せ利息請取場を記
入セリ

利札證書ハ紙幣寮の元帳上ニ於て書替ルこと極ク容易ニ
何地ハありとも轉移セハキ者故ニ當初請取りたる本人
ニ前以て其利息請取場所を記入セリ及モ其利息請取期
月日モ前ニ記セル場所の内ハ持参シて請取る事を得ハシ

記名利札兩證書とも其利息の拂方ハ毎年七月一日より
十五日十二月一日より十五日まで兩度ニ拂渡セハ

記名證書の利息請取方ハ所持人自ら其場所へ證書を持参
シ役人其目前ニ於て證書裏面の枠内へ記名調印セハ一若
シ病氣其他止む事を得ざる事故ニ由て所持人自ら場所へ
来リて請取ることも能ハル時ハ名代人を命ジ證書を持
参シテ請取る事を得ハ一最も名代人を任セるハ自筆記
名調印の委任狀以渡置くるハ拂場所ニ於てハ本人自筆ハ
委任狀を見上りて利息を拂渡セハ一利札證書の利息請
取方ハ本人もても代人もてモ其證書を利息拂場所ニ持参
セザレバ證書の下端ニ附添セリ利札を切取りて其利息を相

渡をへ（此前後改定アリ第五ニ載ス）

第六條

記名利札兩證書共ニ讓渡し何人ニ論む所持人の勝手
あるへ

記名證書の所持主之を他人ニ讓渡さんと欲する時ハ其
證書は裏面枠内ニ示せる通り大藏省記録頭の眼前又遠隔
の地ありは地方官又ハ銀行の頭取ハ眼前ニ於て裏書をな
し記名調印し上りて讓受主へ相渡をなす

但本文の手數煩多實際不便宜を生ずる時ハ讓主
ニ相應證據とあるべき人物を頼み其眼前ニ於て裏書を
なす其人物の證印を得し上りて讓受主へ相渡しても

苦しかり

讓受主ハ其證書を請取る時ハ其證書ハ第七雜形の通
書状を添て便利の地ハ東京紙幣寮へ差出して書替を請ふ
る遠隔の地ありハ銀行又ハ地方官へ願ひ公便を以て紙
幣寮へ差出して差支あり又千圓の證書を所持するの
五百圓を殘ちて他は五百圓を讓渡さんと欲する時ハ矢
張其趣以證書裏面の枠内へ記入して書替を請ふ事前の如
く第八雜形の如し
紙幣寮ニ於て右の手續ニて差出さる證書と添書とを落す
とも當前ハ手續を遂けて送方をなす事最初の渡り方手續
の如くありへ尤も一の證書ハ半分を他人へ讓渡を付

書替を請ふ時は尤當前の手續を遂けて兩人へ送方をあに
利札證書を譲渡せしめ證書を書替へ又其都度之を届出
るおも及むに只其証書を金と引替り取遣を致し

第七條

證書を質入して借金のしる者ある時利札證書なきは其質
取主よりして利息拂場所へ其證書を持参して利息拂方を
要望し又ハ月日後七ヶ年（後三ヶ年ト改定第五見命）を経る後拂戻の
籤子中記する證書を持参して元金拂戻し以要望するも紙
幣寮に於てハ元帳上は名前記載せしむるハ質入主質取主
論なく其證書持参の者も拂渡せしむる尤も記名證書を以ハ

是非とも本人又ハ本人自筆の委任状を帯びたる名代人
非せし拂渡さるる

第八條

證書の所持人若し證書を取失ふり又ハ盗取らるる時ハ
直し何号何番何高の記名又ハ利札證書を失ひ又ハ盗取ら
れたる由を便利の地なきハ直し紙幣寮遠隔地を以て銀
行又ハ地方官を通し紙幣寮へ届出へし尤も紙幣寮へ届出
る前ハ其趣以新聞紙に載せて布告せしめし
紙幣寮にて右の届書を受取せし速し其趣并證書の種類金
高番号を各地方廳及び銀行へ公告し何月何日後ハ右種類
番号の證書ハ持参して利息并元金の拂方を望むと之を

取押へ推究の後其次第を届出へき旨を通達し且新聞紙其
他の手續新聞紙多き地の村町を以て右の證書の取引を
高札場子揭示せしむを以て右の證書の取引を
せしめらるる旨を紛失又ハ盗去らる日より六月間公
布せらる

右公布の間ハ元金又ハ利息とを之を拂ひ渡さるるハ六月
ヶ月を過て其證書發見せざる時ハ紙幣寮にて新證書を
作てて所持人へ渡せし尤も公告時間中ハ積りたる利息
の高ハ新證書を渡したる次の拂期月ハ一同之を拂渡せし

第九條

水火災にて證書流失焼亡の事あれハ所持人ハ前條の手續
よて其趣を紙幣寮へ申立へし右流失焼失の次第判然たせ

前條紛失の手續よ從て之を處置せし又水火災にて其
證書ハ部分焼切せ又ハ消滅して通用し難き程あれハ所持
人ハ残余の證書片を添へ書面よて其由を直し紙幣寮へ差
出せし又ハ銀行地方廳を通し之を差出し替り證書を乞ふ
を

第十條

何人ハ拘りしハ公債證書を私に剥去り又ハ裂き又ハ塗抹
し孔を穿ち糊附せらる等の事を為せし若し犯せし
の所ハ裁判ハ上其金高十倍以上の罰金を命ぜりし
何人を論せし此公債證書を贋造し又ハ人欺して之を模擬
せしめ又ハ人の贋造せし紙助け又ハ贋造と知りて通用せ

一、め又ハ証書の圖画文字を變換シ又ハ人をして變換せし
 免又變換せし之のと知て之を通用シ其他似寄の板版紙
 品雜形の圖画文字等を所持するものり都て法に從て之を
 處をへし
 第十一條
 政府の都合よりてハ要用此事あるハ何時子ても此條例
 を増補シ又ハ之を改正せし尤も増補改正等には速に
 其由を世上に公布せし
 右之通相定候事
 明治六年一月廿八日
 太田政權官

第一号

(自第一号至第五号
文例改正アリ第三号載ス)

請取證書表書文例

何番

明治何^干年ノ公債ノ勘定トシテ本日日本政府
 ノ信ヲ以テ何圓ノ金高ヲ受取申候仍之請取證
 書ニ通相渡シ候也

明治何年何月日

何府何州

何之誰殿

何地出張紙幣寮

何府縣公債掛

何府何銀行

何之誰印

第一号

同上裏書文例

此證書ハ何圓引替ニテ相渡シ候依之何府何町何之誰ハ
姓名記載証書 左ノ目錄通御渡可被成候也
利息札付証書

公債証書目錄

| | | |
|------|------|------|
| 利息札付 | 何圓証書 | 姓名記載 |
| 何枚 | 何枚 | 何枚 |
| 全 | 全 | 全 |
| 全 | 全 | 全 |
| 全 | 全 | 全 |
| 計何圓 | 何枚 | 何枚 |

明治何年何月日

大藏省
紙幣頭何之誰殿
何地出張紙幣寮
何府廳公債掛
何縣何銀行
何之誰印

第二号

請取證書寫文例

何番

明治何^支年ノ公債ノ勘定トシテ本日々本政府
ノ信ヲ以テ何圓ノ金高ヲ受取申候仍之請取
證書ニ通相渡シ候也

明治何年何月日

何地出張紙幣寮
何府廳公債掛
何縣何銀行掛
何之誰印
何府何町
何之誰殿

第三号

持主タルヘキ者へ送方文例

此便ヲ以テ別封明治何^千年ノ公債利息札付證書ヲ
差送候間此目錄ニ引合セ落手可有之候

何番

何圓

何枚

全

全

何地出張紙幣寮

右ハ何^府縣公債掛之請取預リ書ヲ證據トシテ發行候也

何^府縣何銀行

明治何年何月日ヨリ何分ノ利息拂初ム

明治何年何月日

何^府何^町

何之誰殿

東京大藏省
紙幣頭何之誰印

第四号

證書持主ヨリ差出スヘキ請取書文例

何月日附ノ貴翰落手仕明治何^千年ノ公債利札附
證書左ノ目錄通牒ニ請取申候

目錄

何番

何圓

何枚

全

全

利息ハ何地ニテ御拂可被下候

明治何年何月日

何^府何^町

何之誰印

大藏省

紙幣頭何之誰殿

第五号

別封何^{府何村}何ノ誰ハ可相渡公債証書并請取
証書其他當人ヨリ可差出右ノ請取証書共封入
差送候間當人ハ相違右証書ハ月日姓名記入為
致調印之上當寮ハ可被差越候也

明治何年何月日

大藏省

紙幣頭何之誰印

何地出張紙幣寮

何^府廳公債掛

何^府何銀行

何之誰殿

第六号

封書雛形

何地出張紙幣寮

何^府廳公債掛

何^府何銀行

何之誰殿

公用

公債証書何圓封入別封入

東京

大藏省

紙幣頭何之誰

第七号

書替願書

私儀何_府何_{村町}何_之誰ヨリ別書金高ノ證書
ヲ讓受候ニ付テハ私ノ姓名ニ御書改可被
下候以上

明治何年何月日

何_府何_{村町}何_之誰印
何_府廳公債掛
何_府何_{銀行}御中
何_府廳公債掛
何_府何_{銀行}御中

第八号

同上

此書狀中何々ノ公債金高千圓ノ證書ヲ封入
差出申候是ハ内金五百圓丈裏書ノ通何_府何_{村町}
乙某ハ讓渡候ニ付同人姓名ニ御書改被下
殘リ五百圓ハ私姓名ニ御書改可被下候以上

明治何年何月日

何_府何_{村町}甲某印
何_府廳公債掛
何_府何_{銀行}御中
何_府廳公債掛
何_府何_{銀行}御中

第二 六年六月廿四日第二百二十四號御布告

本年第一百二十一號布告金札引換公債證書發行條例中請取

證書等ノ文例別紙ノ通改正候條此旨相達候事

第一号

請取證書表書文例

何番

- 一 太政官札
- 一 民部省札
- 一 大藏省新札
- 一 貨幣

種類何兩

同 何圓

計何圓

右ハ明治何年ノ公債ノ勘定トシテ本日々本政府ノ信ヲ以テ書面ノ金高ヲ受取申候仍之受取證書相渡候也

明治何年何月日

何府何所
何縣何村
何之誰殿

何地出張紙幣寮
何縣廳公債掛
何府何銀行
何之誰印

第一号

同上裏書文例

此證書ハ何圓引替ニテ相渡シ候依之何府何村何之誰ハ
記名公債証書左ノ目錄通御渡可被成候也
利札付 公債証書目錄

利札付證書

何圓証書

何枚

全 全 全

計何圓

何枚

記名証書

何圓証書

何枚

全 全 全

計何圓

何枚

明治何年何月日

大藏省

紙幣頭何之誰殿

何地出張紙幣寮
何府廳公債掛
何府何銀行
何之誰印

第二号

請取證書寫文例

何番

一 太政官札

種類何兩

一 民部省札

同

一 大藏省新札

何圓

一 貨幣

同

計何圓

右ハ明治何年ノ公債ノ勘定トシテ本日々本政府ノ信ヲ以テ書面ノ金高ヲ受取申候仍之受取証書相渡候也

何地出張紙幣寮

何府廳公債掛

何縣何銀行

何之誰印

明治何年何月日

何府何町

何之誰殿

第三号

持主ナルヘキ者ハ送方文例

此便ヲ以テ別封明治何年ノ公債記名利札付公債證書ヲ

差送候間此目錄ニ引合セ落手可有之候

何号何番

何圓

何枚

全

全

右何地出張紙幣寮何府廳公債掛之請取預リ書ヲ證據トシテ發行候也

何縣何銀行

明治何年何月日ヨリ何分ノ利息拂初ム

明治何年何月日

東京

大藏省紙幣頭何之誰印

何府何町

何之誰殿

第四号

證書持主ヨリ差出スヘキ請取書文例

何月日附ノ御封書落手仕明治何年ノ公債記名利札付
公債證書左之目錄通慥ニ請取申候

目錄

何号何番

何圓

何枚

全

全

全

利息ハ何地ニテ御拂可被下候

何府何村町

明治何年何月日

何之誰印

大藏省

紙幣頭何之誰殿

第五号

別封何府何村町何ノ誰ハ可相渡公債証書并証書

目錄其他當人ヨリ可差出請取証書トモ封入差

送候間當人ハ相達右証書ハ月日姓名記入為致

調印之上當寮ハ可被差越候也

明治何年何月日

大藏省

紙幣頭何之誰印

何地出張紙幣寮

何府廳公債掛

何縣何銀行

何之誰殿

第三 六年七月十四日第二百四十五號御布告

本年三月第百二十一號金札引換公債証書發行ノ儀布告候處詮議ノ次第有之本年一月廿九日即舊曆正月一日以後一ヶ月五朱ノ割合ヲ以テ利子可拂渡候條此布令到達ノ日ヨリ四十日間ニ右證書交收ヲ可願出若此期限ニ後ニ願出候者ハ本年三月十四日以前ノ利子ハ不相渡候此旨布告候事

第四 六年七月廿二日第二百六十四號御布告

本年三月第百廿一號布告金札引換公債証書發行條例第三條第四條第五條第七條中別紙之通改定候條此旨布告候事
金札引換公債証書發行條例之内

第三條第三節

記名利札兩證書共發行ノ年ヨリ十五ヶ年之間流通セシム可キ者ニシテ証書ヲ所持シタル年ヨリ三ヶ年之間ハ只利足ノミヲ拂渡シ四ヶ年目ヨリハ何時ニテモ政府ノ都合ニヨリ抽籤ノ方ヲ以テ元金ヲ拂戻スヘケレハ證書之所持人ハ此時ニ至ルモ決シテ之ヲ拒ムノ權アラサルヘシ是ヲ以テ發行ノ年ヨリ十五ヶ年後ハ是非トモ政府悉皆之ヲ買揚ルノ權アルヘシ

第四條初節但書

但シ受取シ内贖札アル時ニハ其贖札ニ相違ナキノ確証ヲ持參人へ指示シ其種類金高枚數等ヲ帳面ニ記シ置キ其札ハ即座ニ之ヲ斷截ニ附スヘシ

贖札持參之者ニ疑シキ事アレハ之ヲ探
索シ又ハ之ヲ推糺スル事勿論タルヘシ

第五條第四節

記名証書之利息拂方ハ其期月前紙幣寮ヨリ利息請取切手
第九号雜ヲ直ニ証書之所持人へ相送り又時宜ニヨリテハ
形之如シ
地方廳ヲ通シ差送ルヘケレハ所持人ハ切手之裏面ニ雜形
ノ通り記名調印シテ之ヲ其名宛ノ場所ニ持參シテ利息ヲ
請取ヘシ若病氣其他止ムヲ得サル事故ニ由テ所持人自ラ
其場所ニ至リ請取事能ハサル時ニハ名代人ヲ命シ切手ヲ
持參シテ請取事ヲ得ヘシ尤名代人ヲ任スルニハ自筆記名
調印之委任状ヲ渡置ヘシ拂場所ニ於テハ本人自筆ノ委任
状ヲ見シ上ニテ利息ヲ拂渡スヘシ利札証書ノ利息請取方

書面証書之利息

一金何圓

當何年几月分

書面金高前書証書所持人へ可相渡候也

明治何年月日

紙幣頭何某



何地出張紙幣寮

何府縣廳公債掛

何府縣何銀行

何某宛

五ニ請取申却出州

賈札持參之者ニ疑シキ事アレハ之ヲ探
索シ又ハ之ヲ推糺スル事勿論タルヘシ

第五條第四節

記名証書之利息拂方ハ其期月前紙幣寮ヨリ利息請取切手
第九号雜ヲ直ニ証書之所持人へ相送り又時宜ニヨリテハ
地方廳ヲ通シ差送ルヘケレハ所持人ハ切手之裏面ニ雛形
ノ通り記名調印シテ之ヲ其名宛ノ場所ニ持參シテ利息ヲ
請取ヘシ若病氣其他止ムヲ得サル事故ニ由テ所持人自ラ
其場所ニ至リ請取事能ハサル時ニハ名代人ヲ命シ切手ヲ
持參シテ請取事ヲ得ヘシ尤名代人ヲ任スルニハ自筆記名
調印之委任状ヲ渡置ヘシ拂場所ニ於テハ本人自筆ノ委任
状ヲ見シ上ニテ利息ヲ拂渡スヘシ利札証書ノ利息請取方

ハ本人ニテモ代人ニテモ其証書ヲ利息拂場所ニ持參スレ
ハ証書ノ下端ニ附添セル利札ヲ切取りテ其利息ヲ相渡ス
ヘシ

第七條

七ヶ年ヲ經タル後ヲ三ヶ年ヲ經タル後ト改ム

表面

切手雛形第九號

第何號

何記號自何番
至何番

一 何圓記名証書

何枚

何記號

一 何圓記名証書

一枚

書面証書之利息

一 金何圓

當何年上六ヶ月分

証書所持人

何某

何縣何村何番地

ハ證書ノ下端ニ附添セル利札ヲ切取りテ其利息ヲ相渡ス
ヘシ

第七條

七ヶ年ヲ經タル後ヲ三ヶ年ヲ經タル後ト改ム

表面

切手雛形 第九號

第何號

何記號自何番
至何番

一 何圓記名證書

何枚

何記號

一 何圓記名證書

一枚

何府何村何番地

證書所持人

何某

書面證書之利息

一金何圓

當何年上六ヶ月分

明治何年月日渡

第何號 證

何記號自何番
至何番

一 何圓記名證書

何枚

何記號

一 何圓記名證書

壹枚

何府何村何番地

證書所持人

何某

書面證書之利息

一金何圓

當何年上六ヶ月分

書面金高前書證書所持人へ可相渡候也

明治何年月日

紙幣頭何某



何地出張紙幣寮

何府廳公債掛

何府何銀行

何某宛

華何銀

何時自何處

何時

何時

何時

裏面

何時

裏面

請取證書

表書之金私所持之公債證書當何年
上下六個月分之利息上之御渡被下
正二請取申候仍如件

表書

證書所持人

明治何年月日

何某



何地出張

紙幣寮

何府廳

公債掛宛

何縣府

何銀行



第五 六年八月廿日第三百三號御布告

本年三月第百二十一號布告金札引換公債證書發行候條見本相添此旨布告候事見本略又

○藩紙幣

○上納ノ舊藩楮幣各種混淆不致様可取計ノ事

第六 六年一月十日大藏省第一號府縣へ布達

東京大坂紙幣寮へ上納可相成舊藩々製造之楮幣百兩宛ニ糊封致シ可差出旨相達候處各種混淆一封ニ致差出候縣ニ有之哉ニテ多數之検査差支候間各種混淆無之様可取計尤都合ニ寄百兩内外之糊封ハ不苦候事

○舊藩々引換濟紙幣府縣へ預リ可置ノ事

第七 六年一月十五日大藏省第二號府縣へ布達

舊藩々製造之紙幣引換濟之分三河信濃以東ニ屬スル縣々ハ東京紙幣寮越中飛彈以西ニ屬スル縣々ハ大坂出張紙幣寮へ上納可致旨壬申八月廿九日官藩交換手續書ヲ以相達是迄引換收入札損札未發行札貸附上リ札準備札之類ハ東京大坂兩所之内便宜之方へ上納可致旨同十一月十二日相達置候處遠隔之地ヨリ右兩所へ運輸不便之向モ有之趣ニ付テハ自今右之分ハ勿論租稅其他諸上納藩札之分共當省ヨリ官員派出請取検査之上地方於テ燒捨相成候間東京大坂へ上納ニ不及追テ官員派出迄府縣廳へ預リ置可申尤租稅其他諸上納藩札之分ハ租稅出納兩寮之都合モ有之儀ニ

付右藩札ニ限リ知令恭事預リ証書ヲ以兩寮納ニ相立可申候條其旨相心得外藩札一同前文官藩拮幣交換手續書第四條之趣ヲ以札員檢査糊封之上右官員派出請取候迄不都合無之樣嚴重取締致置可申候且右交換其他之藩札共萬一非常騷擾之際賊徒掠奪候共再度發行不相成樣札面上左右之隅裁斷糊封致置可申候此段相達候事

第八

六年三月廿八日大藏省第四十五號府縣へ布達

舊藩札引換并為燒捨當省官員派出ニ付引換札損札未發行札其他租稅諸上納札共官員派出迄縣廳へ預リ置租稅諸上納札ハ租稅出納兩寮之都合モ有之儀ニ付知令恭事預リ証書ヲ以右兩寮納ニ相立候様本年當省第二號ヲ以布達候處

未夕官員派出無之縣々ハ是迄ノ通知令參事預リ証書ヲ以兩寮納ニ相立既ニ官員派出有之縣々ハ右派出官員ノ受取証書ヲ以租稅出納兩寮納ニ相立可申候此段更ニ相達候事

○舊藩縣製造紙幣引渡濟ニ付受預証書引換方ノ事

第九

六年十月廿二日大藏省第四百四十八號府縣へ布達

舊藩縣製造紙幣ヲ以租稅其他諸上納之分當省ヨリ官員派出受取候上地方於テ燒却相成候間右紙幣府縣廳へ預リ置知令恭事預リ証書ヲ以納ニ相立可申候條當省本年第二號四十五號及布達置候處追々官員派出紙幣引渡相濟候ニ付テハ官員受取証書ト最前上納濟預リ証書ト引換之儀紙幣寮へ申出引換方可取計候條此旨相達候事

○舊藩紙幣五錢以下ニ捺印ノ印章増渡并押印交換ノ上届方及ヒ同斷ニ付諸入費受取方ノ事

第十 六年三月十二日大藏省第二十八號府縣ハ布達
舊藩々製造紙幣ノ内差向五錢以上ノ分交換相始五錢未満ノ分ハ追テ交換迄押印ノ上當分令通用候積就テハ新貨相當ノ印章一種ニ付五顆ツ、相渡候段去壬申八月廿八日官藩楮幣交換并五錢未満小札押印手續書ヲ以テ相達置價格比較表出来次第追々印章相渡候處五錢未満ノ小札多且管内手廣ノ場所一種五顆ニテ押印ニ年月ヲ經候儀ニ立至候テハ不都合ニ付申出次第増印可相渡條現今小札高并印章増員數共至急取調可申出候此段相達候事

第十一 六年三月廿二日大藏省第三十六號府縣ハ布達

舊藩々製造紙幣ノ内差向五錢以上ノ分交換五錢未満ノ分ハ追テ交換迄押印ノ上當分令通用候ニ付新貨相當ノ印章相渡候ニ付テハ去壬申八月廿八日相達候官藩楮幣交換并五錢未満小札押印手續書ノ趣ヲ以專ラ取行中ニ可有之右押印相濟候上ハ早速報告書可差出ハ勿論ノ事ニ候得共若遲延亦ハ區々ノ届方有之候テハ不都合ニ候條押印相濟次第取行候場所并始業卒業ノ月日取扱ノ人名等巨細ノ報告書ハ別紙雛形通ノ押印濟内譯帳相添早々可届出尤當省官員派出致居候場所ハ打合ノ上可取計此段相達候事
別紙雛形之

第十二 六年三月三十一日大藏省第四十九號府縣ハ布達

舊藩縣製造ノ紙幣引換元金追々下渡候ニ付テハ壬申第百十六號當省布達（第一類編第五卷第九十二見合）官藩楮幣交換手續書ノ趣ヲ以取行中ニ可有之交換相濟候上ハ交換押印藩札運輸燒却等ノ諸入費ハ兼テ相達候趣ヲ以別途請取次第精細ノ調書ヲ以可届出ハ勿論ノ事ニ候得共若遲延亦ハ區々ノ届方有之候テハ不都合ニ付押印交換相濟次第租稅其他諸上納札諸入費ニ至ル迄一藩限無漏別紙離形ノ通精細取調右交換取行候場所始業卒業ノ月日取扱人名等ノ報告書相添早早可届出此段相達候事（別紙離形畧之）

但舊旗下舊采地ハ發行ノ紙幣御引換相成候分モ其所轄ノ府縣於テ本文同様取調可差出事

第十三 六年十二月廿三日大藏省第百八十四號府縣ハ布達

舊藩縣旗下製造ノ紙幣押印交換相濟次第右諸入費別途請取方等ノ儀本年當省第四十九號及布達置候處卒業ニ至リ候テモ今以請取方不申出向モ有之右ハ取調之都合モ候條押印交換燒却悉皆相濟候分ハ右紙幣ニ關係之諸入費取纏別途請取方早々可申出其他前布達之通可心得此旨相達候事

第十四 六年三月十二日大藏省第二十九號府縣ハ布達

○紙幣ニ關ル願伺届燒失ニ付更ニ謄寫可差出ノ事
 舊諸藩縣ヨリ紙幣ニ關シ候願伺届ノ類去壬申二月廿六日元紙幣察類燒ノ節燒失ニ付寫取揃可差出旨同月晦日相達

置候處于今不差出向无有之右ハ舊藩縣ヨリ引渡之書類寫
取差出候儀ニテ遲滯可致謂無之不都合ノ事ニ候條若書類
引渡方不行届ノ分ハ舊官員取糺己巳十二月以來壬申二月
廿五日迄紙幣ニ關シ候諸願伺届辨官并當省ハ差出御沙汰
指令濟ノ分共都テ寫取揃往復ヲ除日數十五日ノ内當省ハ
可差出猶此段相違候事

但差出濟ノ向ハ何月幾日差出候段斷書可差出且舊旗下
ノ分ハ當時管轄ノ府縣於テ取集可差出事

○藩札引換金渡其他調印勘合ノ夕メ地方官印章可
差出ノ事

第十五 六年四月五日大藏省第五十五號府縣ハ布達

藩札引換金渡其他受取證書調印勘合ノ為府知事其縣令參事
之印章壹枚至急紙幣察ハ可差出事

○藩札引換及下調等ハ管下ノ者ハ可申付ノ事

第十六 六年四月五日大藏省第五十六號府縣ハ布達

舊藩札為引換官員派出為致候ニ付右藩札請取ノ際眞贋其
外檢査ノ為銀行名代人附屬申付置候處或ハ縣官於テ銀行
出張ノ者ハ右藩札引換及上納下調申付候向无有之哉之趣
仮令檢査人ハ相替リ候共同組ノ者ニテ互ニ檢査取扱候テ
ハ檢査ノ趣意ニ相悖リ其益無之候條向後縣官於テ藩札引
換及下調等ハ總テ其管下ノ者ハ申付候様可致事

○舊藩々製造ノ札各種可差出ノ事

第十七 六年五月廿七日大藏省第八十三號府縣へ布達

舊藩々製造ノ札各種都合三通ツ、可差出旨先般相達候處

第一類編第一一篇等
五卷第七十三見合猶至急入用有之候間御一新前後製造之

無差別手摺汚レ無之文字押印等發輝ト相分候分各種一ト

通ツ、往返日數ヲ除ノ外十日限紙幣察へ可差出尤代金之

儀ハ價格比較表之價位ヲ以別途下ノ渡候條受取方可申出

候事

但先般差出候見本代金受取方未夕不申出向七有之候間

早夕取調可申出候事

○府藩縣製造紙幣準備金上納ノ事

第十八 六年十月廿四日大藏省第五百五十號府縣へ布達

舊藩縣及舊旗下製造紙幣引換準備金之儀調書差出早々當

省へ相納候様辛未十二月公布後度々當省ヨリ相達候趣モ

有之候處第一類編第一一篇第五卷自
第七十四至第七十九見合最前準備金有無届方疎

漏レテ正金金札ト届候分藩札ニ成換ル居或ハ事故有之上納

之節多分之増減等有之甚以不都合之儀ニ付追々紙幣察ヨ

リ尋問取調候得共于今殘金不納亦ハ尋問數度ニ及レ候得

共其譯判然不申出向七有之候趣然ル處紙幣之儀ハ追々處

分相濟引換焼却之期ニ至リ候處右様準備金納方等等開相

成候向有之候テハ不都合之至リニ候條別紙雛形相達候間

是迄仕譯書差出濟之分トモ更ニ雛形ニ照合増減其外巨細

取調往復日數ヲ除キ十日限無相違可差出候尤未夕納殘金

有之候向ハ至急紙幣寮ハ上納可取計候此旨相違候事別紙雜

○贖金

○新貨幣

○贖金造幣寮へ持參ノ者代價拂渡方ノ事

第十九 六年六月八日第百九十二號御布告

戊辰紛擾ノ際一時流通ノ銀臺贖貳分判ノ儀是迄造幣寮へ持參ノ節ハ同寮發行ノ預リ證券ヲ以テ交換致遣候處今般預リ證券發行廢止(第三十 一見合)ニ付テハ向後同寮へ贖金持參高一萬兩以上ノ分ハ速ニ溶解シ品位價格ヲ定メ改鑄時間ヲ待タズ分析等ノ費用ヲ引去直ニ代價可拂渡候條贖金儲蓄者ハ造幣寮へ差出候様可致候此段相違候事

○銀貨幣量目増ニ付五十錢以下模様改正ノ事

第二十 六年二月十日第四十六號御布告

壬申第三百四十一號布告定位銀貨幣量目増相成候ニ付向來鑄造ノ五十錢以下定位銀貨幣之模様別紙圖面之通改正候條此段為心得相違候事

定位銀貨幣改正圖面

五十錢貨

表



二十錢貨 十錢貨 五錢貨 一錢貨 一厘貨



右各種貨幣ノ寸法量目等ハ壬申十一月中相達候通

○銅貨幣二錢ノ壹種ヲ加ヘ各種圖面改正鑄造ノ事

第廿一 六年八月廿九日第三百八號御布告



辛未年中頒布新貨條例中銅貨幣ノ儀ハ壹錢半錢壹厘ノ三種ニ俟處今般人民ノ便利ヲ謀リ更ニ貳錢ノ壹種ヲ加ヘ且各種ノ圖面等モ別紙雛形ノ通改正鑄造候條此旨布告候事

改 正 銅貨圖面寸法并量目表

| | | |
|--|--|---|
| 銅 | 銅 | |
| 一 | 貨 | 二 |
| 表 | 裏 | 表 |
|  |  |  |
| 以百枚 | 以十五枚換一圓 | |
| 經曲尺 | 量目 | 經曲尺 |
| 英 一英寸一〇 | 日本 三匁七分九厘五毛 | 日本 一寸〇五厘 |
| 日本 九分二厘 | 英 二百二十〇グレイン | 英 一英寸二五 |

憲法類編
第八冊

| | | |
|---|---|---|
| 貨 銅 | | 貨 |
| 錢 半 | | 錢 |
| 裏 | 表 | 裏 |
|  |  |  |
| 圓一換枚百二以 | | 圓一換 |
| 目 量 | 經 曲尺 | 目 量 |
| 英 日本 九分四厘八毛七五 五十五ゲレイン | 日本 七分二厘 〇インチ八七 | 英 日本 一匁八分九厘七毛五 百十〇ゲレイン |

| | |
|---|---|
| 貨 銅 | |
| 厘 一 | |
| 裏 | 表 |
|  |  |
| 圓一換枚千以 | |
| 目 量 | 經 曲尺 |
| 英 日本 二分四厘一毛五 十四ゲレイン | 日本 五分二厘 〇インチ六二 |

海外在留ノ官員生徒等月給旅費總テ新貨幣ヲ以可相渡事第二卷ノ第百廿三ニ載ス

第廿二 六年七月廿五日第百六十八號御布告

大坂造幣寮ニ於テ貨幣鑄造地金收納之儀本年九月一日ヨ

第憲法類編

第八冊

二十七

リ同十一月十五日迄一切相斷候條此旨布告候事

第廿三 六年七月三十日大藏省第百十六號府縣へ布達

大坂造幣寮ニ於テ地金收納之儀來ル九月一日ヨリ相斷候旨太政官第百六十八號ヲ以御布告相成候處今般更ニ詮議之筋有之來九月十六日ヨリ十一月十五日迄地金收納相斷候條此旨為心得相違候事

第廿四 六年十月七日第三百三十四號御布告

大坂造幣寮ニ於テ地金收納之儀ニ付本年第百六十八號布告並大藏省第百十六號布達候處今般詮議之筋有之來ル十一月三十日迄同寮休業候條此旨更ニ布告候事

○新貨條例中刪去改定ノ事

第廿五 六年十二月十九日第四百十二號御布告

新貨條例中新貨幣例目ノ末條ハ刪去シ造幣規則第四條ハ左ノ通改定候條此旨布告候事

品位並價格トモ詳明ナル銀地金并日本或ハ外國銀貨幣ハ二千オンスト口^ル百^拾六^貫五^百以上ノ高ナラハ之ヲ受取造幣規則ニ從テ一圓銀ヲ以テ拂ヒ渡スヘシ

○證券

○大藏省開拓使證券一圓以上之分捺印方并五十錢以下引換手續及通用停止日限ノ事

第廿六 六年三月十五日大藏省第三十四號府縣へ布達

當省並開拓使發行爲換座三井組ト記載致シ候正金兌換證

券ノ儀一圓以上ノ分堅牢黒肉ヲ以更ニ何圓ノ捺印致シ候
筈兼テ相違有之候處右札諸國へ散布ニ付東京大坂等而已
ニテハ所持ノ者迷惑不少且掛取兼候ニ付此度三井組へ申
付同組出張先於テ加印セシメ候間其管下最寄々々聊ニテ
モ所持ノ者ハ纒ノ手數ヲ不厭速ニ右出張先へ可申出旨未
未迄及布達無洩加印相調候様厚世話可致事

第廿七 六年五月廿日第百六十九號諸府縣へ御布告

去辛未以來發行ノ為換座三井組ト記載有之大藏省及開拓
使正金兌換證券ノ内五拾錢貳拾錢拾錢ノ三種小券昨壬申
米發行ノ新紙幣ト引換可相成旨同年第百二十三號及七
第百十五號ヲ以テ布告候處第一類編第一篇第五卷ノ本
第百廿七第百廿八ニ載ス

年十二月廿日限り通用令停止候條右證券所持ノ者ハ右期
限ニ後レサル様左ニ揭示スル場所并ニ西京其外各地方廳
へ引換可申出旨各管轄内へ不洩様可相達尤引換方ノ儀ハ
大藏省へ打合不都合無之様可取計事

東京函崎町

開拓使貸附會所

大坂北鞆町

同斷 會所

函館大町壹町目

同斷 會所

札幌

同使廳

根室

同支廳

樺太

同斷

留萌

同斷

浦河

同斷

松前

同出張所

小樽

同斷

各府縣

引換場所ノ儀ハ其廳ノ使宣ニヨ
ルヘシ但シ東京大阪兩府ヲ除ク

第廿八

六年六月廿四日大藏省第百一號府縣へ布達

本年第百六十九號ヲ以公布相成候通

(第廿七
一載)

正金兌換証券

之内五拾錢貳拾錢拾錢之三種引換可相成ニ付別紙手續書

相渡候條不都合無之様可取計事

別紙

正金兌換証券五拾錢貳拾錢拾錢三種引替方手續書

第一條

近來兌換証券ニ模擬贋造之モノアリ故ニ縣官ヨリ茲ニ
注意シ交換之際註誤ナキヲ要ス

第二條

手摺墨附油漆有之モノハ引換與ル事差支ナシ燒損ノモ
ノニテモ西洋製小印紙及ヒ何錢之文字現存スルハ引換
與フヘシ

但現存スル共何錢之文字欠損シテ分明ナラサルハ拾
錢ヲ以テ引換與フヘシ

第三條

贋札ヲ持參シテ引換ヲ請フ者アラハ其贋札ニ相違ナキ
ノ確證ヲ指示シ其種類金高枚數ヲ帳面ニ登記シ持參人

二憲法類編
第八冊

之眼前ニ於テ其札ヲ斷截シ贋札持參ノ者ニ疑敷事アリハ之ヲ探索シ又ハ之ヲ推札
タルヘシスル事勿論引換畢リタル後贋札類ヲ集メテ令參事ヨリ
明細書ヲ添テ東京紙幣寮大坂出張紙幣寮へ上納スヘシ

第四條

西洋製小印紙ナキモノハ真物タルモ引換與フヘカラス

第五條

引換元金ハ第二常備金之内ヲ以繰替取計置追而證券引
換畢リ上納濟之後紙幣寮ヨリ請取ヘシ

第六條

引換タル三種證券ヲ上納スルニハ其種類ヲ分千百圓宛
ニ封シテ其上面へ金高枚數種類ヲ詳記シ令參事檢印之

上ニテ別ニ金高枚數種類ノ明細帳ヲ添東京府外二十六
縣ハ東京紙幣寮京都府外一府三十四縣ハ大阪出張紙幣
寮へ上納スヘシ

但上納之節其證券ヲ東京第一國立銀行並其出店へ相
預ケ其預リ證書ヲ以東京紙幣寮大阪出張紙幣寮へ上
納スヘシ右上納之後檢査ヲ行フニ當リ若シ札負之不
足或ハ贋札之混入セルヲ發見スル時ハ令參事其責ニ
任シ相當之辨金ヲ致スヘシ

東京紙幣寮へ上納之部

- 東京府
- 神奈川縣
- 新潟縣
- 埼玉縣
- 熊ヶ谷縣
- 足柄縣
- 千葉縣
- 新治縣

二憲法...

第八冊

- | | | | |
|--------------|-----|-----|------|
| 茨木縣 | 朽木縣 | 濱松縣 | 静岡岡縣 |
| 山梨縣 | 筑摩縣 | 長野縣 | 宮城縣 |
| 福島縣 | 磐前縣 | 若松縣 | 水澤縣 |
| 岩手縣 | 青森縣 | 山形縣 | 置賜縣 |
| 酒田縣 | 秋田縣 | 相川縣 | |
| 大阪出張紙幣寮へ上納之部 | | | |
| 京都府 | 大阪府 | 兵庫縣 | 長崎縣 |
| 奈良縣 | 堺縣 | 三重縣 | 度會縣 |
| 愛知縣 | 滋賀縣 | 岐阜縣 | 敦賀縣 |
| 石川縣 | 新川縣 | 豐岡縣 | 鳥取縣 |
| 島根縣 | 濱田縣 | 飾磨縣 | 北條縣 |

- | | | | |
|------|-----|-----|------|
| 岡山縣 | 小田縣 | 廣島縣 | 山口縣 |
| 和歌山縣 | 名東縣 | 高知縣 | 愛媛縣 |
| 福岡縣 | 三潯縣 | 小倉縣 | 大分縣 |
| 佐賀縣 | 白川縣 | 宮崎縣 | 鹿兒島縣 |

第七條

右上納ニ付運送ノ入費ハ可成丈減少之方法ヲ以第二常備金之内ニテ立替置追々明細帳ヲ以當省へ申立別途之ヲ受取ヘシ

明治六年六月

大藏省

第廿九 六年十一月十日大藏省第百六十三號府縣へ布達

本年第一百一號當省布達正金兌換証券ノ内五拾錢貳拾錢拾

錢ノ三種引換高當十月三十一日迄ノ分取調往復目數ヲ除
ノ外三日限紙幣寮へ可差出右ハ御都合モ有之候條可成丈
早行引換本年第百六拾九號公布之通期日後レサル様注意
可致候此旨布達候事

第三十 六年十二月廿三日第四百十五號御布告

本年五月第百六十九號ヲ以テ開拓使發行五十錢以下證券
ノ儀本月廿日限リ停止ノ旨其外引換方等布告候處未引換
殘モ有之由相聞候ニ付特別ノ譯ヲ以テ更ニ明治七年二月
廿八日マテ前號ノ趣ニ準シ引換遣候條右日限迄無相違引
換可申候此旨布告候事

但通用停止ノ儀ハ第百六十九號ノ通りタルヘキ事

○古金銀納入証券廢止ニ付引換方ノ事

第三十一 六年五月廿八日第百七十六號御布告

造幣寮ニ於テ古金銀預リ証券ヲ發行候段辛未十一月及布
告候處廢止候條此段為心得相違候事

第三十二 六年六月二日大藏省第八十九號府縣へ布達

本年第百七十六號ヲ以公布相成候通古金銀納入証券發行
相廢止候ニ付テハ從前發行有之分引換期限相過居未々引
換不申出分ハ當七月三十一日限リ造幣寮へ持參交換可願
出候此段相違候事

第三十三 六年八月八日大藏省第百十八號府縣へ布達

本年當省第八十九號布達ヲ以古金銀納入証券發行相廢止

候ニ付從前發行有之引換期限相過居未夕引換不申出分ハ
當七月三十一日限造幣寮ハ持參交換可願出旨相違候處今
以引換不申出向モ有之不都合ノ事ニ候依之來ル九月十五
日迄延期候條同日限無遲滯引換之儀同寮ハ可申出候此段
相違候事

第三十四 六年十月八日大藏省第四百十號府縣ハ布達
古金銀納入證券發行廢止之後從前發行引換殘之分當九月
十五日迄ニ無遲滯引換之儀可申出旨本年當省第四百十八號
ヲ以再應布達候處猶以引換不申出向モ有之重々不都合之
事ニ候依之十二月中限引換可遣候條早々引換之儀可申出
候此段更ニ布達候事

但本文十二月中限引換不申出分者一切取上不申候條此
旨可相心得候事

○新紙幣

○新紙幣百圓五十圓見本等ノ事

第三十五 六年二月八日正院達

新紙幣百圓五十圓ノ兩種壬申第二百二十四號ヲ以相違置

候通

第一類編第五卷第百三十二載ス

為見本各二枚ツ、下渡候條管内

ハ可及布達候也

見本

第三十六 六年二月九日正院ヨリ諸省府縣ハ達

新紙幣各種見本下ケ渡置候處實物流行致シ最早見合無之
候テモ無差支相聞候間早々取纏メ可差出事

憲法 第一冊

第三十七 六年三月廿七日正院達

新紙幣各種見本早々取纏ノ可差出旨去ル二月九日相達置候處今以返納不致向有之不都合ノ事ニ候條四月廿日限志皆返納可致事

○新紙幣各種見本並金券見本差立途中逢強奪ノ事

第三十八 六年五月廿日第百七十號御布告

去四月十九日大阪府及同所出張驛遞察ヨリ新紙幣各種見本並ニ西京大阪神戸為替會社金券見本別記ノ通書留郵便ヲ以テ差立候處途中淀收方ノ間堺縣下楠葉村ニ於テ郵便行李逢強奪候段大阪府並ニ驛遞察ヨリ届出候條各地方官ニ於テ嚴密遂探索右品見當候ハ、大藏省へ可申出事

別記

○見本鑿孔ノ紙幣散布ノ分引替願方等ノ事

第三十九 六年五月廿五日第百七十四號御布告

去壬申六月中見本トシテ相渡置候鑿孔ノ新紙幣ヲ縣官ノ内心得違ヲ以テ通用札へ取交セ官費ノ内へ遣拂候向有之ヨリ現今各地へ散布致候趣右ハ通用札ニ不紛様兼テ鑿孔致シ置候品ニ付自然其儀不心付所持ノ者有之候ハ、速ニ紙幣察又ハ第一國立銀行へ引替可願出尤懸隔之場所ハ其地方廳へ可願出事

第四十 六年五月廿七日小田縣へ御達

壬申六月中見本トシテ相渡候新紙幣二百五拾五圓ノ内二百拾七圓ハ官負心得違ヲ以官費ノ内へ拂出候ヨリ各地へ

憲法 第八冊

散布ニ取纏メ防行届兼候趣ニ付第百七十四號ノ通及布告候就テハ其縣官費ノ内二百拾七圓ノ餘金可有之等ニ候條通用札ヲ以右金高早々紙幣寮へ上納可致事

第四十一 同日滋賀縣へ御達

壬申六月中元犬上縣へ見本トシテ相渡候新紙幣二百五十五圓ノ内二百廿六圓八元同縣官費心得違ヲ以官費ノ内ハ拂出候ヨリ各地へ散布シ取纏方行届兼候趣ニ付第百七十四號ノ通及布告候就テハ元犬上縣官費ノ内二百廿六圓ノ餘金可有之等ニ候條通用札ヲ以右金高早々紙幣寮へ上納可致事

第四十二 六年五月三十一日大藏省第八十七號府縣へ布達

去壬申六月中見本トシテ諸向へ御渡相成候鑿孔新紙幣之内小田縣並元犬上縣官費心取違ヲ以通用札へ取交拂出候ヨリ各地へ散布流通致シ候趣右札世間ニ流布候テハ不都合ニ付所持之者ハ早々引換可願出旨今般御布告相成候ニ付引換願出候ハ、常備金之内ヲ以一時引換遣シ願人姓名住所並紙幣之番記委細相認紙幣寮へ送納致シ右引換金請取可中尤去壬申九月二百八十一號ヲ以御布告相成候第一類編第一篇第五卷第百三十四ニ載ス紛失ノ新紙幣ト不混様番記相改引換可取計事

○會社金券

○西京大坂神戸大津敦賀為換會社ノ金券引換ノ事

第四十三 六年六月三日大藏省第九十二號府縣へ布達
西京大阪神戸大津敦賀為換會社於て發行之金券者當四月
一日ヨリ九月三十日迄引換可願出旨兼て及布達置候處引
換願出候者稀少之趣右様等間ニ打過候而者自然期限ニ差
迫リ引換願之者一時ニ輻湊致シ混雜之處ヨリ引換殘毛出
來致シ所持之者可及難儀條其邊之御趣意柄ヲモ篤ト相辨
金券所持之者ハ聊夕リ共早々引換可願出旨小前未々迄不
洩様可相達事

第四十四 六年十月三日大藏省第三百三十七號府縣へ布達
西京大阪神戸大津敦賀為替會社發行金券引換方之儀兼て
相達置候諸上納其他交換為シ遣候員額當九月三十日迄ノ

分別紙雜形之通取調十月七日ヨリ往返日數ヲ除之外十日
ヲ限紙幣察並ニ大阪出張同察之内へ差出可申此旨相達候

事
別紙雜
形畧ス

第四十五 六年十月三日大藏省第三百三十八號府縣へ布達
西京大阪神戸大津敦賀為換會社發行金券當四月一日ヨリ
九月三十日迄引換方及布達候ニ付右期限後通用難相成處
萬一僻陬之地引換殘リ等有之其儘廢物ト相成候而ハ小民
共可為難儀ニ付特別之詮議ヲ以當十一月三十日迄為引換
候ニ付右延期中無遺漏引換尤來ル十二月一日ヨリ斷然通
用令停止候條後日不都合無之様注意管下一般不洩様可觸
示此旨更ニ布達候事

第四十六 六年十二月四日大藏省第百七十一號府縣へ布達
西京大坂神戸天津敦賀為換會社金券引換期限當十一月廿
日迄之積當省第百三十八號ヲ以相違置候通期限後通用引
換共不相成候條兼而相渡置候見本札未夕返納不相成向ハ
早々相納可申候就テハ先般第百三十七號ヲ以相違候諸上
納其他交換濟之負額當九月廿日迄之分ハ逐次届出有之候
得共猶十月一日ヨリ十一月卅日迄之分別紙雜形ニ照シ取
調本月七日ヨリ往返日數ヲ除之外十日ヲ限リ有無トモ紙
幣寮並大坂出張同寮之内へ可届出候此旨相違候事
別紙雜形
取寄ス
第四十七 六年十二月廿五日大藏省第百八十五號府縣へ布達
西京大坂神戸天津敦賀為換會社金券引換期限當十一月三

十日迄之積本年第百三十八號當省布達之通期限後通用引
換トモ不相成候條兼テ相渡置候見本札返納云々頃日第百
七十一號ヲ以相違置候處兎角右金券今以諸方ニ散布致居
候趣ニテ既ニ實況報告處分伺出之向モ有之右ハ固ヨリ布
達之旨ヲ注意セサル所ヨリ竟ニ引換之機ヲ外シ萬々不都
合之次第ニ付其儘廢物ト為シ可申答之處左候テハ細民ト
テ可為難義ニ付更ニ特殊之典ヲ以來明治七年二月廿八日
マテ本社并各地方廳ニ於テ引換遣候條所持之者ハ右日限
中決テ無相違申出交換可致旨各管下一般無漏洩觸示早々
可令處分尤通用ハ不相成候萬一右期限ヲ過何様歎願候共
採用不致斷然可為廢物候此旨相違候事

○橫濱為換會社發行金券引換事

第四十八 六年十月廿日大藏省第四百四十六號府縣ハ布達
今般橫濱為換會社改革ニ付去ル明治二年以降同會社ヨリ
發行之金券 壹貳拾五兩 二種各地方廳并橫濱第二國立銀行ニ
於テ本月廿五日ヨリ來明治七年一月卅一日ヲ引換為致
候條所持之者ハ右日限中無遲滯申出引換可申尤同年二月
一日ヨリ斷然通用令停止候此旨布達候事
但本文金券之儀ハ東京為換會社發行之品ト一様之形ニ
而只表面地名ヲ記シタル一類之印章ノ以區別有之事ニ
付能々心附可申事

第四十九

六年十月廿日大藏省第四百四十七號府縣ハ布達

這回橫濱為換會社改革ニ付右會社發行金券之儀當省第百
四十六號布達之通來明治七年二月一日ヨリ通用令停止候
條右引換為見本二十五兩札壹兩札各拾枚ツ、相渡候間迅
速降手處分可有之其引換元金之儀ハ兼テ取立置候租稅亦
ハ置金ノ内ヲ以テ取計尤右金券ヲ以租稅其他上納物ニ加
ヘ不苦候得共為夫諸上納可成丈遷延不相成様注意取計可
申候此旨相達候事

但本文金券ノ儀每月交換高種類トモ翌月五日付ヲ限リ
引換有無トモ報告書紙幣察並大坂出張同察之内ハ地方
之最寄都合ヲ以差出且追テ結局届出之前見本札相納可
申候事

第五十 六年十一月五日大藏省第百五十六號府縣へ布達

橫濱發行金券引換ノ儀ニ付本年第百四十九號當省布達（四）

十九見合引替元金ノ儀ハ兼テ取立置候租稅又ハ置金ノ内ヲ以

テ取計云々掲載有之候處更ニ詮議ノ次第有之引替元金ニ
租稅ヲ以テ繰替遣拂候廉ハ取消候條此段相違候事

但右金券ヲ以テ租稅其他上納物ニ加ヘ候等ノ儀ハ布達
ノ通不苦候事

第五十一 六年十二月八日大藏省第百七十三號府縣へ布達

本年當省第百五十六號布達中橫濱發行金券引替之儀ニ付
第百四十九號布達取消云々ノ廉ハ第百四十七號ノ誤ニ候
條此旨相違候事

○東京為換會社發行金券引換ノ事

第五十二 六年十一月廿四日大藏省第百六十五號府縣へ布達

今般東京為換會社改革ニ付去ル明治二年已降同會社ヨリ

發行之金券廿五兩二種各地方廳并東京第一大區十四小區

蠟殼町二丁目為換會社ニ於テ當十二月一日ヨリ來明治七

年二月廿八日迄引換為致候條所持之者ハ右日限中無遲滯

申出引換可申尤同年三月一日ヨリハ斷然通用令停止候此

旨布達候事

但本文金券之儀者橫濱為換會社發行之品ト同種ニテ只

表面右之方華押之下ニ地名ヲ記シタル一顆之印章橫濱

ハ表面左之方ニ地名ヲ記シタル一顆之印章ヲ以區別有之事ニ付能ク心附可申事

第五十三 六年十一月廿四日大藏省第百六十六號府縣へ布達
這回東京為換會社改革ニ付右會社發行金券之儀當省第百
六十五號布達之通來明治七年三月一日ヨリ通用令停止候
條迅速降手處分可有之右引換元金之儀ハ該廳置金等之内
以取計尤右金券ヲ以租稅其他止納物ニ差加へ不苦候間
諸般不都合無之様注意取計可申候此旨相達候事
但見本札之儀者先般第百四十六號百四十七號ヲ以相達
候橫濱為換會社發行之品ト同種ニテ帝金券表面地名ヲ
記シタル一類之印章ヲ以區別致シ候テ之儀會社此度
別段見本札相渡不申候條此分引換相濟候ハ行橫濱會
社金券見本ハ上納ニ不及候其他百四十七號達之通相心

得可申事

○各為換會社發行金券引換ノ分可届出ノ事

第五十四 六年十一月廿四日大藏省第百六十七號府縣へ布達
各為換會社發行金券諸府縣ニ於テ引換遣候元金之儀者該
廳置金等之内ヲ以取計右交換高紙幣察並ニ大阪出張同察
之内へ報告之儀西京大阪神戸天津敦賀會社之分ハ當九月
三十日マテ之引換高一ト先届出東京橫濱之分ハ前月分引
換高翌月五日ヲ限り有無共可届出旨逐次相達置既ニ届出
之分モ有之候處中ニハ右引換金券届高之内其廳之都合ヲ
以掛屋へ申付直ニ發行元會社へ相廻既ニ引換取計其旨届
書中ニ掲載無之向モ有之裁之ヨシ左候テハ紙幣察毎月計

憲法類編
第六卷
銀行紙幣

算上重複ヲ生シ不都合之儀ニ付已ニ右様之儀有之是迄届
洩之向者往復ヲ除之外日數三日ヲ限リ取調前同察并出張
察之内へ可申出尤已後ハ其時々此度報告書中へ記載可致
候此旨相達候事

○銀行紙幣
○國立銀行紙幣發行ノ事

第五十五 六年八月廿日第三百四號御布告

今般東京第一國立銀行ニ於テ國立銀行條例之趣意ニ據リ
(銀行條例ノ一第一類編第
二篇第四卷ノ第七見合)公債證書ヲ抵當トシテ本年八月
二十日ヨリ別紙見本之通ニ拾圓拾圓五圓貳圓壹圓五種之
紙幣ヲ發行セシメ海關稅及ヒ公債証書ノ利息ヲ除ク之外

租稅其他一切公私之取引等總テ正金同様通用セシム候條
此旨可相心得最右紙幣之儀ハ何時ニ行モ銀行本店並橫濱
大阪神戸之枝店ニ於テ人民之望次第無差支正金ヲ引換ル
筈ニ付無疑念取引可致依テ銀行紙幣見本相添此旨布告候
事

見本
畧ス

第五十六 六年十月十八日第三百五十一號御布告

東京第一國立銀行紙幣ノ儀東京本店并ニ橫濱大阪神戸ノ
枝店ニ於テ引換候旨本年八月第三百四號ヲ以布告候處東
京ハ第一大區小十五區兜町大坂ハ東大組第十三區高麗橋
通四丁目ニ於テ別店ヲ設ケ引換專務為取計候條望ノ者ハ
右兩所ノ内へ可申出此旨布告候事

憲法類編
第八冊

銀行紙幣

四十二

第五十七 六年十一月十四日第三百七十八號御布告

今般大坂第五國立銀行ニ於テ國立銀行條例ノ趣意ニ據リ
公債證書ヲ抵當トシテ本月十七日ヨリ貳拾圓拾圓五圓貳
圓壹圓五種ノ紙幣ヲ發行セシメ海關稅並公債証書ノ利足
ヲ除ノ外租稅其他公私ノ取引等總テ正金同様令通用候條
此旨可相心得尤右紙幣ノ儀ハ何時ニ行モ人民ノ望次第左
ノ場所ニ於テ無差支正金ト引換ル答ニ付聊無疑念取引可
致此旨布告候事

但紙幣ノ儀ハ本年八月第三百四號布告第一國立銀行ニ
於テ發行ノ品ト同様ニテ唯表面銀行名號地名及上頭取
支配人ノ名印並裏面割印相異リ候迄ノ儀ハ付別段見本

相添サル事

第五國立銀行發行紙幣正金引換場所

本店 大坂西大組第十三區立賣堀五丁目

枝店 東京第一大區十四小區新和泉町

第五十八 六年十二月二十日第四百十四號御布告

本年十一月第三百七十八號布告訂正

第五國立銀行發行紙幣正金引換場所本店大坂西大組第十

三區八第十區ニ候條此旨更ニ布告候事

○第一國立銀行紙幣見本ノ紛失ノ事

第五十九 六年十一月十七日第三百八十六號使府縣へ御達

本年八月第三百四號布告第一國立銀行發行紙幣見本トシ

憲法...

于下渡候内岐阜縣下石津郡高須町三揭示ノ分別記ノ通當
十月十六日何者上モ不知盜去リ候段同縣ヨリ届出候條各
地方官ニ於テ嚴密探索右品見當リ候ハ、大藏省へ可申
出此旨相達候事

別記紛失銀行紙幣種類内譯
本ノ第一國立銀行紙幣

一貳拾圓
A 3 7 3
子五百七十五號 壹枚

子五百八十五號 同

子四百四十四號 同

子千五百五十一號 同

一五圓
A 2 8 1 7
子二千五百十七號 同

A 2 8 2 4
子二千五百廿四號 同

A 3 4 8 9
子三千四百八十九號 同

A 8 4 9 4
子三千四百九十四號 同

A 4 4 8 7
子四千四百五十七號 同

A 4 4 6 2
子四千四百六十二號 同

○雜

○官省札藩紙幣燒捨ノ事

第六十 六年四月廿二日大藏省届書節畧

憲法類編
卷之八

官省札並舊藩ノ製造ノ紙幣大坂出張出納紙幣兩察へ相納候内檢査濟ノ分左ノ表面ノ通燒捨候

一 太政官札貳拾五萬貳千六拾四兩三分

一 同損札貳萬六百七拾三兩三分貳朱

一 民部省損札千百三拾九兩貳分貳朱

一 藩札五拾六萬七千八百拾貳兩貳分永五拾文貳分一厘

是八 豊岡縣ノ内 舊豊岡

同 同 舊福知山

京都府ノ内 舊綾部 大坂府ノ内 舊高槻

高知縣ノ内 舊高知 名東縣ノ内 舊丸龜

同 同 舊高松 福岡縣ノ内 舊福岡

同 舊秋月 山口縣ノ内 舊山口

大分縣ノ内 舊杵築 同 舊岡

同 舊白杵 同 舊佐伯

三潞縣ノ内 舊柳河 宮崎縣ノ内 舊飲肥

白川縣ノ内 舊熊上 滋賀縣ノ内 舊彦根

鷺崎出張所

右官省札ハ當三月六日舊藩札ハ當二月廿七日ヨリ三月六

日マテニ大坂造幣寮構内明地ニ於テ大坂出張出納紙幣兩

寮官負立會燒捨候段申越候依之此段御届申上候也

第六十一 六年九月十三日東京府へ御達

太政官民部省札並大藏省開拓使發行兌換證券舊藩札等引

揚候分第五大區小四區佐久間町一丁目河岸火除地ニ於テ

今十三日ヨリ燒捨中下民へ縦覽為致不苦候條其旨布達可
致此旨相達候事

〔附〕六年九月十八日ヨリ十月三十一日迄和泉橋外燒却場

ニ於テ燒捨紙幣負數

明治六年太政官日誌
第百五十四号ニ出ツ

- 一 太政官札四百六拾六萬五千八百五兩壹分貳朱
- 一 民部省札拾六萬五千四十五兩三分貳朱
- 一 新札引換損札貳萬七千四百七拾圓五拾錢
- 一 開拓使發行證券八萬六千六百二十八圓貳拾錢
- 一 舊洋銀札百四拾九萬四千八百六十弗
- 一 舊藩札四百九拾七萬六千六百四十五枚
- 一 此新貨百壹萬貳千五百三拾四圓七拾五錢壹厘

一 大藏省發行兌換証券壹萬七百七拾圓

○諸紙幣交換臨時至急ヲ除クノ外納拂日限ノ事

〔第六十二〕六年十月廿五日大藏省第百五十二號府縣へ布達

紙幣寮於テ諸紙幣交換納拂之儀臨時至急之令ヲ除ク之外
爾來大ノ月廿七日小ノ月廿五日二月八日限受渡相止候ニ付
上納受取方共右日限兩三日前途ニ申立候様可取計此旨相
達候事

〔第六十三〕六年十二月十八日大藏省第百八十號府縣へ布達

紙幣寮於テ諸紙幣交換納拂取扱候日限之儀本年當省第百
五十二號ヲ以相達置候處六月十二月兩月之儀ハ爾來二十
日限納渡共相止ノ可申ニ付右日限前納請之儀可申出此旨

相達候事

附

造幣寮首長年報刊行ノ事六年六月十四日大藏省

ヨリ諸省へ回達

今般造幣寮首長第二周年報刊行出来候ニ付為心得及廻

達候貳部ツ、御引去周尾ヨリ回文御返却有之度候也(別紙)

刊本アリ
畧ス

二葉
憲法類編第八冊終



明法寮編纂

明治七年甲戌六月刊行

村上勘兵衛

小川半七

北畠茂兵衛

山中市兵衛

坂上半七

賣弘

東京大学図書

